

西播磨の蜻蛉 (Ⅳ) サナエトンボ科

相坂耕作

はじめに

兵庫県の南西部に位置する西播磨地方は千種川、揖保川、夢前川、市川など大きな河川が流れ、溜池等も適当にあり、蜻蛉の良い生息地となっている。

しかし最近では都市化の影響により、減少している蜻蛉も少なくない。

筆者は「てんとうむしNo.7~9」でトンボ科及びヤンマ科を記したが、今回はサナエトンボ科の採集例を中心に手持ちのデータで補足し、サナエトンボ科のリストを作成した。

○ミヤマサナエ

Anisogomphus maacki SELYS

西播磨地方に産するサナエトンボ科で最も少ない種類のひとつで、産地は極限されている。6月頃羽化し9月頃まで見られる。羽化した成虫は深山(ミヤマ)に向かって移動し、成熟し9月頃発生地の平地河川部に戻ってくるものと考えられている。

<採集例>

神崎郡大河内町砥峰	1♀	6-VIII-1981	col. 大前
宍粟郡波賀町赤西	1♂1♀	12-VIII-1981	col. 大前
竜野市竜野町	2♂	8-IX-1984	col. 相坂
揖保郡新宮町	1♂	10-IX-1984	col. 東
相生市三濃山	1♂	16-VIII-1981	col. 米村

○ヤマサナエ

Gomphus melaenops SELYS

大型のサナエの仲間では、西播磨地方で最も普通に見られるものである。日本特産の種で、一般に平地や丘陵地の流水域に見られる。幼虫は砂泥底のゆるやかな流れによく見られる。

<採集例>

佐用郡佐用町若州	2♂	12-VI-1977	col. 相坂
相生市矢野町三濃山	1♂1♀	19-VI-1977	col. 相坂
佐用郡佐用町大船	1♂	12-VI-1978	col. 相坂
竜野市竜野町北竜野	1♂	19-VI-1979	col. 相坂
飾磨郡夢前町永室池	1♂	3-VI-1979	col. 大前
姫路市六角	1♂2♀	20-VI-1984	col. 相坂

○キイロサナエ

Gomphus pryeri SELYS

前種同様サナエトンボ科では大型種。外形はヤマサナエに大変似ており、またヤマサナエと混生していることが多いので、同定誤りの可能性もある。

<採集例>

竜野市竜野町北竜野	1♂1♀	27-V-1965	col. 相坂
姫路市六角	1♀	30-V-1980	col. 相坂

○ホンサナエ

Gomphus postocularis SELYS SELYS

流水域の中型サナエトンボで、頑丈な感じのする大身の種類。4月下旬から羽化し、5月初旬最も多く見られる。最近姫路市の六角付近の河川部や西播磨各地で採集されている。しかしこの種は全国的に少なくなっているといわれる。

<採集例>

姫路市六角	4♂	15-V-1982	col. 相坂
佐用郡三日月町本郷	1♂	11-V-1985	col. 相坂
姫路市飾西桜峠	1♂	9-V-1982	col. 上野
姫路市山田町藤の木	1♂	12-V-1984	col. 上田

○フタスジサナエ

Trigomphus interruptus SELYS

最も普通に見られるサナエトンボであり、西播磨地方では4月下旬より羽化し、6月頃まで見られる。

低地の池や溜池に多く見られ、水域からあまり離れないようだ。

<採集例>

飾磨郡夢前町別車	1♀	10-V-1970	col. 相坂
飾磨郡夢前町山の内	1♂	10-V-1970	col. 相坂
竜野市揖西町	1♂	5-V-1973	col. 相坂
揖保郡御津町碓岩	1♂1♀	20-V-1973	col. 相坂

○オグマサナエ

Trigomphus ogumai ASAHINA

日本特産の蜻蛉。少々汚い水でも生息するサナエトンボ。やはり主として低地の池や溜池に産する。西播磨地方でも春一番に出る最も普通のサナエトンボである。成虫は地面の上にベタッと止まったり、池の近くの樹木の葉上に静止した姿をよく見かける。

〈採集地〉

揖保郡御津町碓岩 2♂1♀ 27-IV-1973 col. 相坂
竜野市揖西町 2♂ 20-V-1973 col. 相坂

○タベサナエ

Trigomphus citimus tabei ASAHINA

4月初旬より出現し、6月頃まで見られる春先き最も早く出現するトンボである。幼虫は主に丘陵地や平地の小川、特に灌漑用の溜池等でも見られる。しかし河川改修や埋め立てにより池がなくなり、次第に生息地が減っている。

〈採集地〉

飾磨郡夢前町別車 2♂ 10-V-1970 col. 相坂
姫路市白国増位山 1♂ 10-V-1982 col. 相坂

○ダビドサナエ

Davidius nanus SELYS

山地の溪流沿いに最も多く見られる小型のサナエトンボである。春から初夏にかけて見られ、溪流の樹上で生活している。西播磨各地に最も多く見られ成虫の胸部の斑紋には変異が多く、時には別種と思われる個体も採集できる。

〈採集地〉

相生市矢野町三濃山 2♂ 20-V-1973 col. 相坂
佐用郡佐用町若州 2♂1♀ 19-VI-1977 col. 相坂
飾磨郡夢前町雪彦山 1♂ 26-V-1981 col. 相坂

○ヒラサナエ

Davidius moiwanus taruii ASAHINA et INOUE

モイワサナエの別亜種で滋賀県の比良山にちなむこ

の種は、西播磨地方で最も稀な蜻蛉の一種である。

幼虫はミズゴケの生える細い流れの湿地に住み、西播磨地方では、僅かに砥ノ峯高原でのみ知られている。しかし高地の細流を探すとこれからも発見出来る可能性がある種だ。

〈採集例〉

神崎郡大河内町砥峰 3♂1♀ 12-VI-1986 col. 相坂

○クロサナエ

Davidius fujiama FRASER

ダビドサナエと同じような溪流付近の樹上や草むらにて見られる。個体数は少なく珍しい。西播磨地方では5～7月に出現する。幼虫は流れのゆるやかな溪流の川底に住んでいる。

〈採集例〉

飾磨郡夢前町雪彦山 1♂2♀ 4-VI-1967 col. 相坂
相生市矢野町三濃山 1♂ 27-IV-1973 col. 相坂
佐用郡佐用町若州 1♀ 12-VI-1977 col. 相坂
飾磨郡夢前町馬頭 1♀ 27-IV-1986 col. 相坂

○ヒメクロサナエ

Lanthus fujiacus FRASER

日本特産種で、西播磨地方では山地の溪流沿いに生息する種類で少なく珍しい。成虫は5月頃が一番多くみられる。

〈採集例〉

佐用郡南光町久保田 1♂ 3-V-1986 col. 相坂
飾磨郡夢前町熊部 1♀ 3-V-1985 col. 東

○ヒメサナエ

Sinogomphus flavolimbatus OGUMA

高地性のトンボで、山地の溪流に産する少ないサナエの仲間。成虫は6～8月に出現する。

〈採集例〉

宍粟郡一宮町福知 1♂ 16-VIII-1972 col. 相坂
佐用郡佐用町若州 1♂ 7-VIII-1977 col. 相坂

○オジロサナエ

Stylogomphus suzukii OGUMA

主に低山地の流域に産するが、産地はかなり限定される傾向がある。しかし案外西播磨地方には比較的広範囲に分布するようである。個体数は少ないようだ。

〈採集地〉

飾磨郡夢前町別車	1♀	10-VI-1970	col. 相坂
佐用郡久崎町秋里	1♂	14-VI-1970	col. 相坂
飾磨郡夢前町雪彦山	1♂	21-VI-1970	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂	16-VIII-1975	col. 相坂
佐用郡佐用町若州	1♀	7-VIII-1977	col. 相坂
宍粟郡波賀町水谷	1♀	23-VII-1977	col. 尾崎
赤穂郡上郡町野桑	2♂	17-VII-1981	col. 相坂

○アオサナエ

Nihogomphus viridis OGUMA

中型のサナエトンボで、頑丈な体に全体緑色味の強いトンボで、平地の流水域で初夏に見られる。西播磨地方では産地は極限される。水面上をなわ張り活動をよくするのが目に入ることがある。

〈採集例〉

赤穂郡上郡町金出地	2♂	7-VI-1980	col. 三木
姫路市六角	3♂1♀	27-V-1983	col. 相坂
姫路市林田町八幡	2♂2♀	23-V-1982	col. 上野

○オナガサナエ

Onychogomphus viridicostus OGUMA

西播磨では目によくするサナエの仲間。スマートな体で中型種。夏期に出現して流水域にて生息する。

和名のオナガは雄の尾部上付属器が長大なことにちなんでいる。幼虫は平地河川の小石の多い場所にてみられる。

〈採集地〉

竜野市竜野町北竜野	1♂1♀	1-VII-1967	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂1♀	16-VIII-1973	col. 相坂
飾磨郡夢前町糸田	1♀	12-VII-1982	col. 木村
竜野市神岡町東鯨崎	2♂	8-IX-1985	col. 相坂

○コオニヤンマ

名前にはヤンマがついているが、サナエトンボ科に属する。幼虫は低山地の溪流や河川の川底にへばりついていたような生活をおくっている。

我が国に産するサナエトンボ科では最も大型の種であり、西播磨地方では5月下旬～9月末にかけて成虫が見られる。幼虫の形は扁平で特異な型をしているため幼虫採集の際よく目立つ。

〈採集地〉

竜野市竜野町北竜野	1♀	16-VI-1967	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂1♀	25-VII-1976	col. 相坂
佐用郡上月町	1♀	8-VII-1984	col. 相坂
竜野市竜野町	1♀	8-IX-1985	col. 相坂

○ウチワヤンマ

Ictinogomphus clavatus FABRICIUS

5月中旬より9月末頃まで見られる。主に開けた池や、ゆるやかな流れの河川などに生息している。

大きなサナエトンボで、♂♀ともに腹端近くに円形の付属物があるので、すぐ種類が分かる。

〈採集地〉

揖保郡御津町碓岩	2♂1♀	17-VIII-1978	col. 相坂
相生市池の内	1♂	17-VII-1981	col. 米村
姫路市飾西桜峠	1♂	10-VII-1983	col. 大川
〃 飾磨区今在家	1♂	11-VII-1983	col. 大川

以上により西播磨の蜻蛉、サナエトンボ科を修了したことになる。終わりにあたり、西播磨地方にて分布可能なサナエトンボ科として、コサナエおよびタイワンウチワヤンマをあげて本稿を終了したい。尚資料の提供や有益な御助言を賜った東輝弥、上田倫範、上野哲郎、大前晋、木村三郎、三木安貞、米村和繁の諸氏に深くお礼申し上げます。

参考文献

- 関西蜻蛉談話会(1975)近畿地方のトンボ、第1部ムカシトンボ科。ムカシヤンマ科・サナエトンボ科
 兵庫県生活部自然課(1974)兵庫県の自然の現状II
 大前晋(1979)夢前愛下流周辺の蜻蛉相、姫路市立科学館資料
 環境庁(1979)動物分布調査報告書(昆虫類)
 相坂耕作(1980)姫路市の昆虫：てんとうむしNo.7
 米村和繁・米村和也(1982)相生市の蜻蛉、てんとうむしNo.8。

(S.05:Kousaku Aisaka 姫路市)

梅雨明けの杉ヶ沢

山本健一

例年になく雨が降り続いた梅雨も明けた1986年7月10日、杉ヶ沢を訪れた。湿地周辺で11時から15時の間に、ウスイロヒョウモンモドキの♂2と♀の新鮮個体1を採集した。他に次の5種を採集した。

- ウラムスジジミ
- ジョウザンミドリジミ
- ウラギンヒョウモン
- ヒオドシチョウ
- コキマグラセセリ

(S.79:Kenichi Yamamoto 姫路市)